

## 平成 28 年度 第 4 回（震災後 第 68 回）

### 陸前高田市保健医療福祉未来図会議

平成 28 年 7 月 22 日(金) 13:30～15:30

陸前高田市役所 4 号棟第 6 会議室

次 第

#### ◆テーマ

### 「 通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由～① 」

#### 1 あいさつ

陸前高田市 民生部長兼保健課長 菅野利尚

#### 2 内容

##### （1）未来図会議のめざすところと「これから」

陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏

##### （2）報告

報告 「市内のあるもの（宝物）探し、地域の通いの場探し」

民生部地域福祉課 課長補佐兼地域福祉係長兼社会福祉士 馬場勝基

活動事例① 竹駒町 店舗型通いの場 「ワーカーズコープ」

勝沼雅典さん、古澤光さん

活動事例② 広田町 住民主導型通いの場「田端・泊お楽しみクラブ」

藤原紀久子さん

活動事例③ 矢作町 男の通いの場 「精米所サロン」 ※ビデオ出演

##### （3）グループで「はまってけらいん、かだつてけらいん」

⇒テーマ：つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

・すごいね！、すばらしいね！、なぜ続けているの？、何が大事なの？

・次の具体的な実践につなげるには？、自分の地域にはないかな？…

#### 3 その他連絡・アナウンス

【事務局：陸前高田市民生部】

※次回（第 69 回）：平成 28 年 8 月 19 日（金）13：30～15：30

◆ 8 月メインテーマ（仮）：**NPO のつよみを活かしてもらうには**

…改めて NPO って？、震災後の市内での活動の実際は？

◆会場：市役所 第 4 号棟 第 6 会議室

## 平成28年度の陸前高田市保健医療福祉未来図会議（月1回）の予定

### ○日程と月別テーマ（予定）

H28年： **9/16（金）第70回**

（仮）通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由～②

**10/14（金）第71回**

（仮）子どもからお年寄りまで誰もが集える居場所づくり、コミュニティづくりとは  
【出張未来図会議：栃ヶ沢公営住宅集会室（予定）】

**11/11（金）第72回**

（仮）子育て世代が必要としている支援、切れ目のない妊産婦・乳幼児への支援とは  
～子ども・子育て世代への合理的配慮って？～

**12/16（金）第73回**

（仮）エンド・オブ・ライフケアと地域コミュニティ  
～地域でその人らしく最期を迎えるために～

H29年： **1/20（金）第74回**

**2/17（金）第75回**

**3/17（金）第76回**

※検討中

### ○会議の趣旨

住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実現を目指し、震災のからの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

### ○大きな方向性

- ・ ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの推進  
「はまってけらいん、かだってけらいん運動」の推進
- ・ ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの融合・実践
- ・ 市民・他分野機関との協働、未来図（計画）策定
- ・ 居場所づくり、相互の経験に学ぶネットワークづくり

### ○陸前高田市保健医療福祉未来図会議メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

# 平成28年度 第4回 (震災後68回) 陸前高田市 保健医療福祉未来図会議

平成28年7月22日(金) 13:30~15:30  
陸前高田市役所 4号棟 第6会議室

## 本日(H28.7/22)の会議の概要

### ◆テーマ

### 通いの場づくり

### ～つながりを持ち続ける理由～①

H28.8月～9月

・・・日頃、通り過ぎて見過ごしていたかも知れない  
地域の「宝物」を継続して確認していきましょう

### ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり アクションプラン



平成27年6月  
陸前高田市

C「保健、医療、福祉、介護」	
テーマ	2 集い、笑い、話し、自分らしく楽しく住まうまちづくり
現状と課題	
【現状】	東日本大震災の被災により長年継続してきたコミュニティが崩壊し、新しい隣人、環境に馴染めない、自分や他人が置かれた状況を理解または受け入れることが出来ず、ストレスを抱えて生活している。
【課題】	周囲に対する理解や関心を向上させるための機会の提供。
具体目標	
新しい環境を受け入れ、楽しい毎日を送ることができるようにする。	
施策	
1 お互いの環境の理解	
アクション	<p>29 心のバリアフリーの推奨</p> <p>誰もが安心して生活を送ることができるようにするため、認知症や障がい、性別、年齢その他それぞれの特性などについて、正しい知識を身につける。</p> <p>当事者や家族が障がいの状態を明らかにすることにより、地域による見守り・支援体制を進める。</p> <p>30 はまっけらいん、かたっけらいん運動の推進★</p> <p>お互いに自然な形で手を差し伸べ合い、お互いさまの精神と多様性を認め合う。</p> <p>はまかたスポットの認定やマップの作成、はまかたデーの設定など、運動に触れる機会を増やし啓発に努める。</p>
2 健康に安心して生活できる環境の整備	
アクション	<p>31 交流できる場の整備</p> <p>市内中心部には、誰でも気軽に立ち寄れる「市民交流プラザ」や商店街のフードコートなどを整備するとともに、周辺地域には、空き家や空き部屋を利用した交流のための居場所をつくる。</p> <p>地域行事の中で花壇や公園管理などを行うことにより、コミュニティの連携を深める。</p> <p>32 多様な住環境の整備</p> <p>遊休施設や空き家を利用しての、高齢者同士、または若者と高齢者との共同生活により、互いに自立し、且つ相互扶助のコミュニティ構築による、新たな住まい方を狙う。医療施設や福祉施設などの一体的なエリアを整備する。</p>

## 本日（H28.7/22）の会議の進め方①

### ◆タイムスケジュール ～14:30

#### （1）未来図会議のめざすところと「これから」

陸前高田市 地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏

#### （2）報告

##### 「市内のあるもの（宝物）探し、地域の通い場探し」

地域福祉課 課長補佐兼地域福祉係長兼社会福祉士 馬場勝基

活動事例① 竹駒町 店舗型通いの場「ワーカーズコープ」勝沼雅典さん

活動事例② 広田町 住民主導型通いの場

「田端お楽しみクラブ」藤原紀久子さん

活動事例③ 矢作町 男の通いの場「精米所サロン」※ビデオ出演

## 本日（H28.7/22）の会議の進め方②

### ◆タイムスケジュール 14:30～

#### （3）グループで「はまってけらいん、かだってけらいん」

⇒テーマ：つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

①すごいね！ 素晴らしいね！

なぜ続けているの？ 何が大事なの？

②自分の地域にはないかな？…知ってるよ。

（※今日のような内容を他でもやらしてもらおうという姿勢ではなく、いろんな形を…）

15:20～ 個別アナウンス・周知

## 市内のあるもの（宝物）探し 地域の通い場探し

地域福祉課

課長補佐 地域福祉係長 社会福祉士

馬場勝基

## 未来図会議の目指すところと 「これから」

## 未来図会議のめざすところと「これから」

住民の生活にかかわる関係者が集まり、**住民一人一人の健康で文化的な生活**及び**ノーマライゼーション**という言葉の**いらないまちづくり**の実現を目指し、震災のからの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

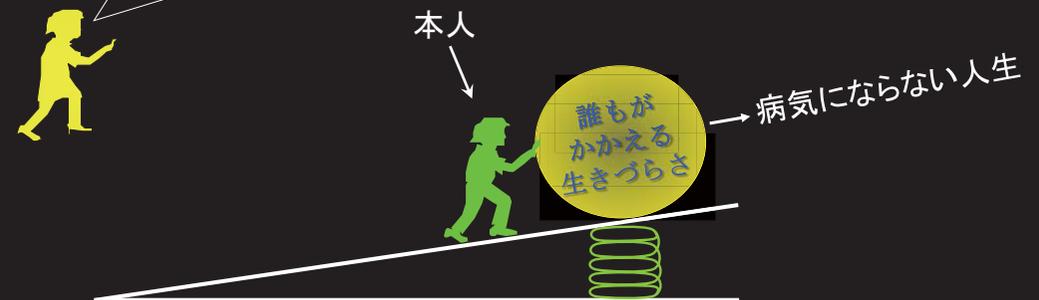
## 健康づくりの方向性に学ぶ

## 従来(指導型)の健康教育

地域保健関係者

健診受けた??  
飲み過ぎ、食べ過ぎ、運動不足  
心配事は、誰かに相談を

めざすものは疾病予防



(島内 1987、吉田・藤内 1995を改変)

# 健康日本21

健康日本21とは  
 国等の動き  
 具体的な活動

健康増進法  
 書籍「実践の手引き」  
 「地方計画事例集」

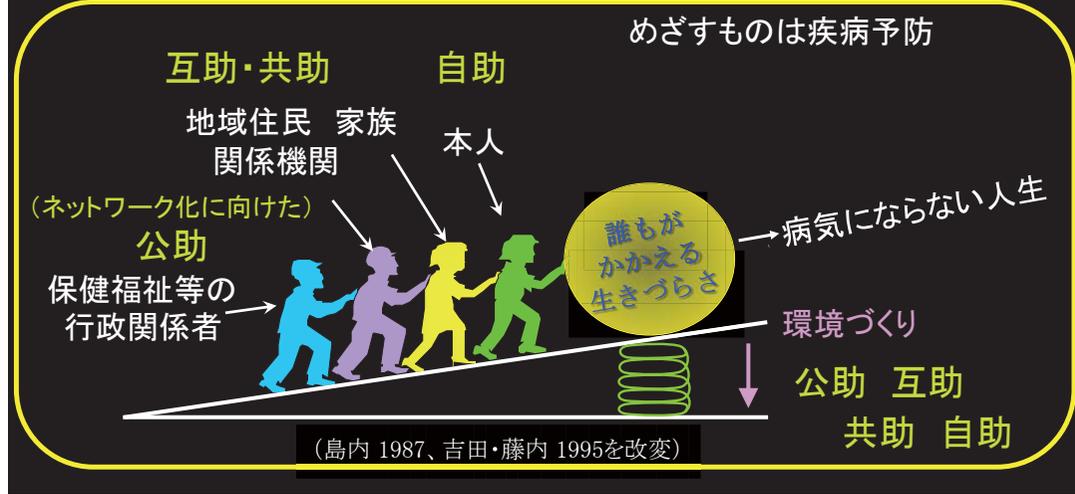
健康日本21  
 21世紀における国民健康づくり運動 期間：2000年～2012年  
 第2次 期間：2013～

## 21世紀における国民健康づくり運動

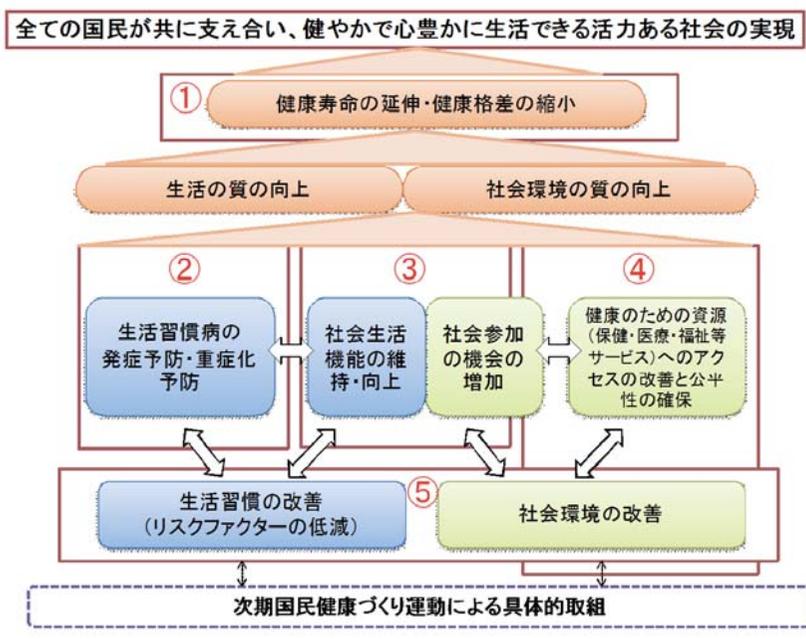
- 2013/05/24 ●「健康日本21(第2次)」について 講演記録
  - 2013/05/10 ●健康日本21推進全国連絡協議会 13年の歩み
  - 2013/04/17 ●第5回栄養・食生活分科会 講演記録
  - 2013/03/22 ●第6回たばこ分科会 講演記録
  - 2013/01/23 ●第10回運動・スポーツ分科会 講演要旨
  - 2012/12/26 ●健康日本21推進地方大会実施地域の公基
  - 2012/12/25 ●第13回 健康日本21全国大会の開催(報告)
  - 2012/10/08 ●第29回全国都市緑化フェアにて健康寿命をのびよう！フェスティバルが開催されます。(10月19日～21日)
- 設立趣意書  
 会長の挨拶  
 協議会活動方針と規約  
 協議会加入団体  
 シンボルマーク  
 加入団体会員ページ
- Smart Life Projectで健康寿命をのびましよう  
 公益財団法人健康体力づくり事業財団

# ヘルスプロモーションの理念

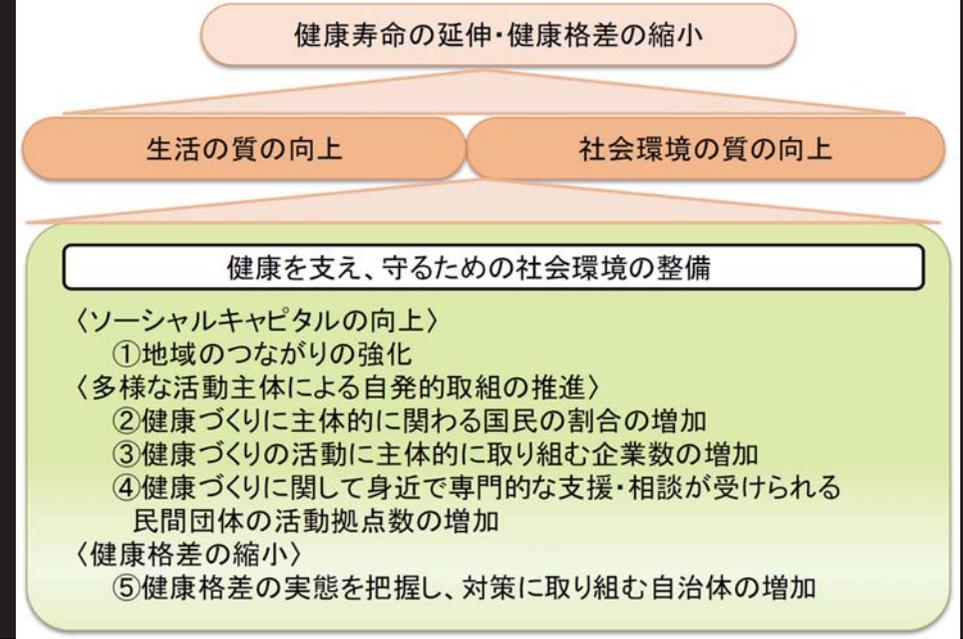
関係性の再構築で  
居場所づくり



# 健康日本21(第2次)概念図



# 健康日本21(第2次)概念図



「つながり」

たとえば

「絆」？

絆

はどう読みますか

絆(きずな)

つながり むすびつき

絆(ほだし)

手かせ 足かせ 迷惑 束縛

相反するから「お互い様」

### ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素

信頼

3つは相互に関連

ネットワーク

規範(互酬性)  
お互い様

絆(きずな:つながり、むすびつき)

絆(ほだし:手かせ、足かせ、束縛、迷惑)

[http://www.jpha.or.jp/sub/menu04\\_10.html](http://www.jpha.or.jp/sub/menu04_10.html)

### ソーシャル・キャピタル(絆[きずな+ほだし])の効用

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教育

就労

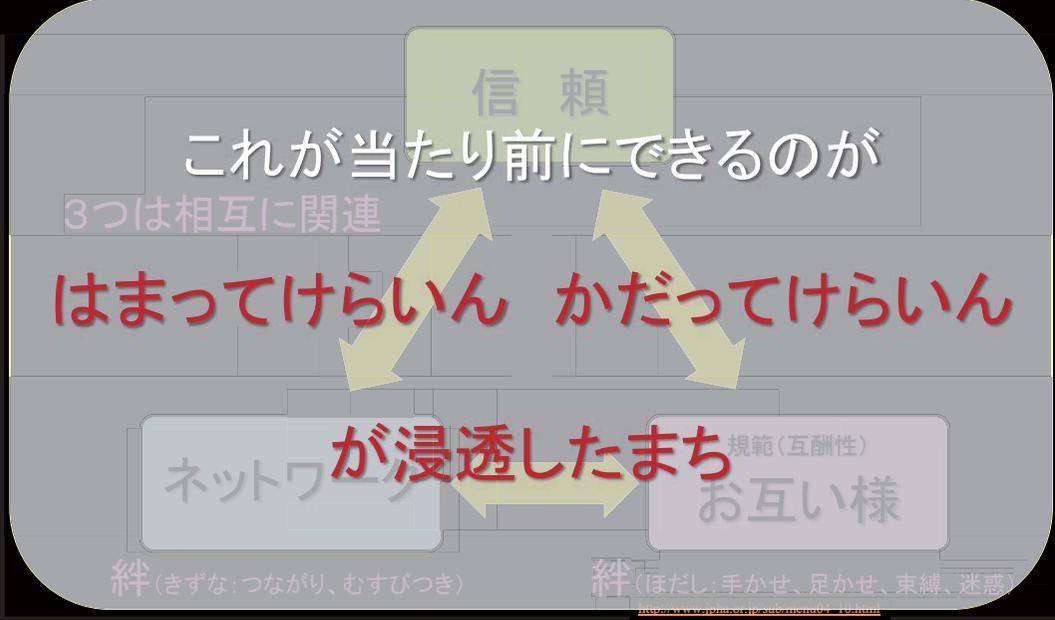
経済成長

技術革新

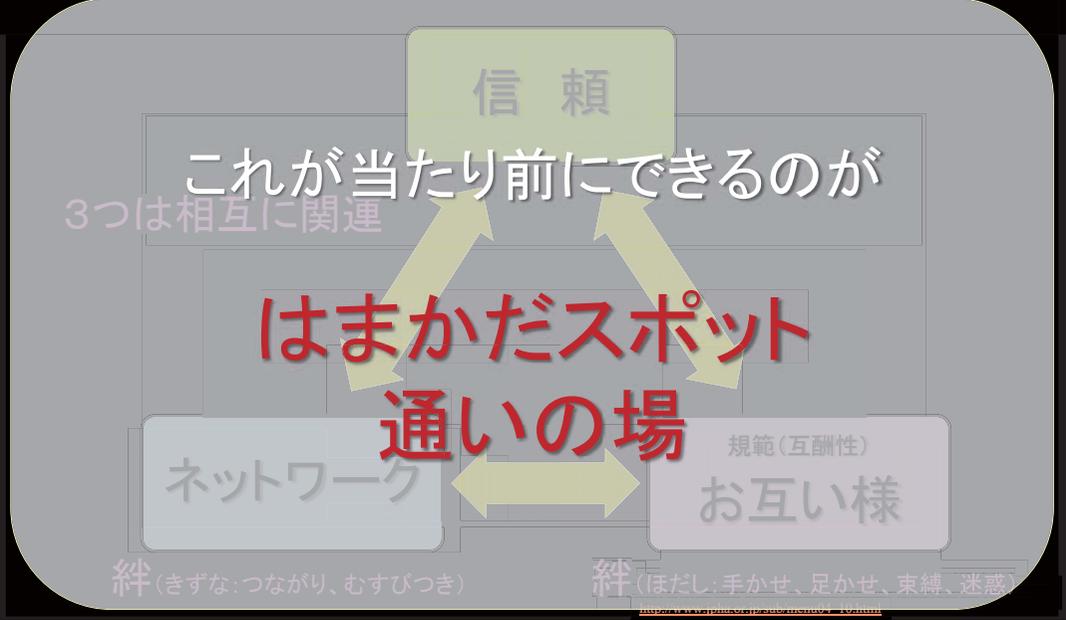
ソーシャル・キャピタル(絆[きずな+ほだし])

平成26年度厚生労働科学研究(健康安全・危機管理対策総合研究事業)  
「地域保健対策におけるソーシャルキャピタルの活用のあるり方に関する研究」  
[http://www.jpha.or.jp/sub/menu04\\_10.html](http://www.jpha.or.jp/sub/menu04_10.html)

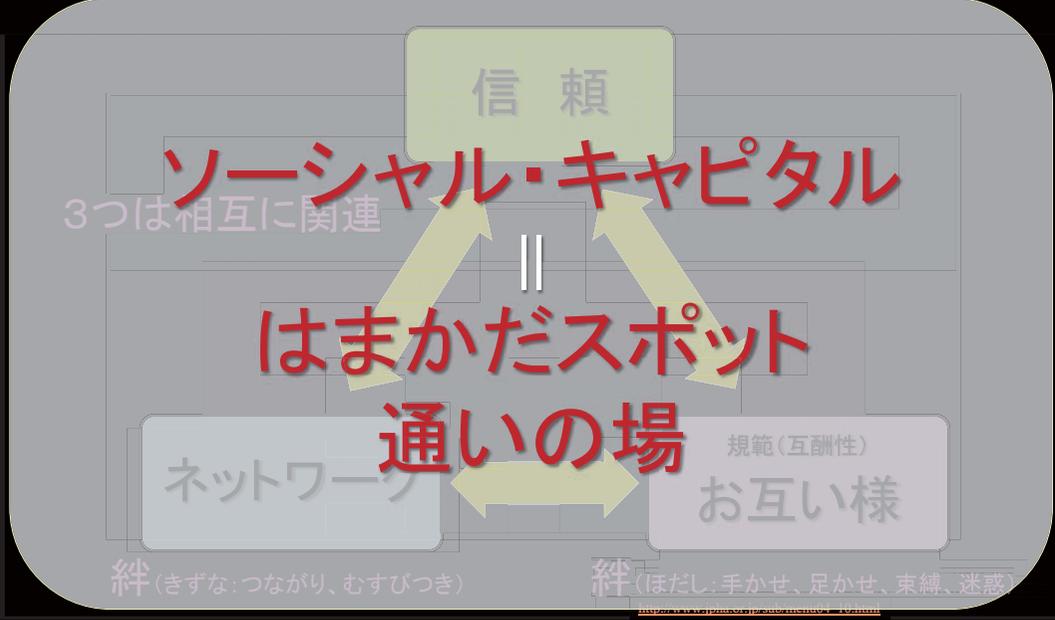
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



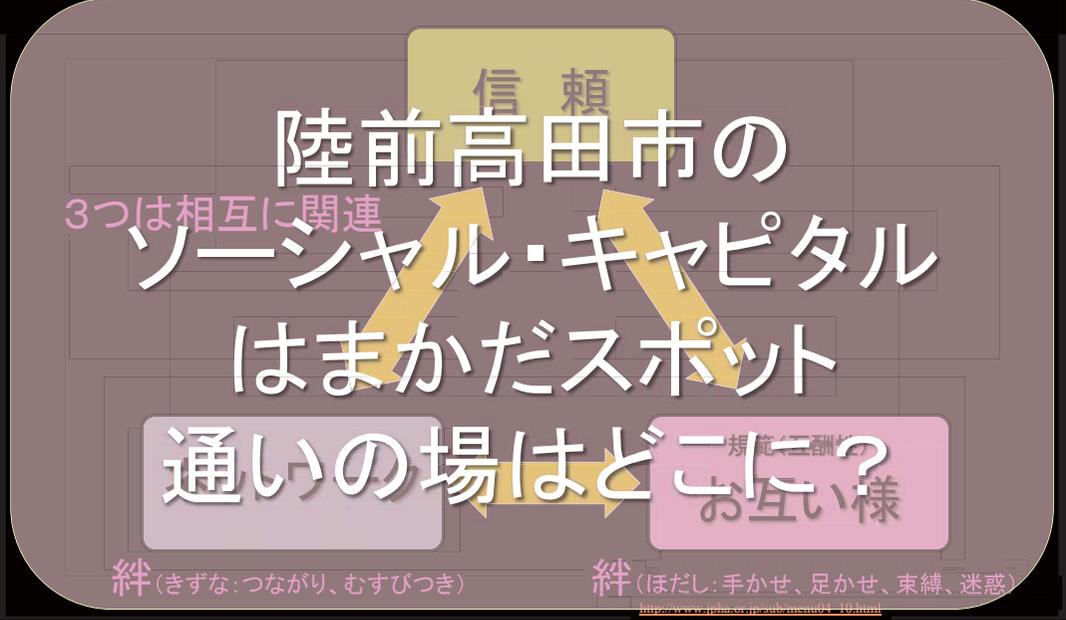
ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の三要素



## 第68回未来図会議

7月メインテーマ：通いの場づくり  
～つながりを持ち続ける理由～①

民生部地域福祉課

地域福祉課

1

## 市内のあるもの(宝物)探し、 地域の通いの場探し

- 気仙地区民児協の岡本会長さんらが、中心となり気仙地区民生委員・児童委員の協力のもと、水上災害公営住宅集会所でお茶っこのみ会を行っています。  
災害公営住宅に住んでいる方、仮設住宅に住んでいる方、近隣の方様々な方が集い、早一年を迎えました。

地域福祉課

2

## 水上サロンの様子



地域福祉課

3

## きょういく・きょうよう

- 例えば、リハビリ…  
ひとりで黙々と筋力トレーニングをすれば筋力の維持はできる。  
けれども、地域で生きていくには、必ず関わりであったり、活動性・社会参加が不可欠になります。  
つまり、リハビリの先にあるのは、**在宅生活⇒地域生活⇒地域**のかけがえのない**構成員⇒役割**が生まれます。  
自らが、社会活動に参加する意欲を持ち続けることが、心身共に健康で生活できます。

地域福祉課

4

# 地域の通いの場について

- ①竹駒町 店舗型通いの場 「ワーカーズコープ」
- 勝沼 雅典 さん
- ②広田町 住民主導型通いの場 「田端お楽しみクラブ」
- 藤原 紀久子 さん
- ③矢作町 男の通いの場 「精米所サロン」
- その他



## ①ワーカーズコープ 勝沼 様

竹駒町のBRT駅隣にリニューアルオープン！！  
農産物だけでなく、水槽も設置して海産物も扱っている  
産直です。  
地元の生産者が集まってサロンなどを開き交流の場になっ  
ています。



### DATA

所在地 陸前高田市竹駒町十日市場8-11

連絡先

詳細

定休日：不定休  
商品種類：  
野菜・果物・お米・海産物・花・加  
工品・手作りお菓子・手工芸品

## ②田端お楽しみクラブ 藤原 様

平成28年4月30日現在	性別		合計	世帯数
	男	女		
矢作町 (うち外国人)	843 (6)	884 (14)	1,727 (11)	661 (6)
横田町 (うち外国人)	780 (7)	762 (4)	1,542 (11)	572 (7)
竹駒町 (うち外国人)	817 (1)	917 (24)	1,734 (25)	662 (22)
栗山町 (うち外国人)	856 (6)	922 (16)	1,778 (16)	635 (12)
高田町 (うち外国人)	2,276 (1)	2,473 (17)	4,749 (18)	2,128 (9)
米岡町 (うち外国人)	1,496 (3)	1,359 (4)	3,046 (9)	1,115 (3)
小友町 (うち外国人)	982 (6)	1,072 (9)	2,054 (9)	744 (2)
広田町 (うち外国人)	1,687 (6)	1,712 (3)	3,399 (3)	1,077 (6)
合計 (うち外国人)	9,687 (14)	10,202 (93)	19,949 (107)	7,594 (53)



## ③精米所サロン ビデオ出演

矢作地区 二又 Yショップ近く



## あるもの探し

- 市内(地域)に通いの場はある？
- 通いの場はどんなところ？
- きょういく(今日〇〇に行く)
- きょうよう(今日〇〇まで用事がある)
- 互助
- 共助

## 地域の通いの場について

- あります。3つの団体から報告を予定しております。
- NPOタイプ
- 住民主導タイプ
- 目的(手段)タイプ
- 後ほどお時間をとります。

## 通いの場はどんなところ

通所	サロン名	開催日	内容	対象	運営
東上公民館兼倉庫	水上サロン	毎月4水曜日 13:30~15:00	茶話会 シク等	公費入居者 近隣高齢者	民生委員
田嶋公民館	お楽しみクラブ	原則として 毎月4水曜日 10:00~11:30	茶話会 軽体操 レク等	主として お楽しみクラブ 会員	会員
寄多地区民家	待合シク	不定期	茶話会	主として クラブ会員	会員
二又稲米所	稲米サロン	毎月	庶談	誰でも	家主 参加者が維持参 市川町民会 コミュニティは支援
高田高校保健	コーヒーサロン	毎月 8:30~10:00	庶談	誰でも	富田地区在住 市民会 地域支援の会
基中保健	ボジョール	未把握	未把握	未把握	基中保健住民
高田町	認知症カフェ	未把握	茶話会 歌等	誰でも	富田地区在住 市民会 地域支援の会
徳山南口	未把握	毎月第2水曜日 13:30~15:00	フルディックウォーキン グ	徳山地区住民	佐藤ます子さん
東上公民館兼倉庫 の基中保健 倉庫所	手裏	毎月1回	手裏 ラジオ体操 にぎにぎ体操	公費入居者 仮設入居者	物になし
一中保健 倉庫所	物になし	毎月 9:00~10:00程度	ラジオ体操 他企画案	仮設入居者	自治会
小黒山	グラウンドゴルフ	毎月第1・3・5曜日 9:30~12:00	グラウンドゴルフ	小黒山地区住民	千原貞志さん
田尻小学校	グラウンドゴルフ	毎週日曜日 9:30~12:00	グラウンドゴルフ	誰でも	物になし

## 自助・互助・共助・公助



- 自分のことを自分でする
- 自らの健康管理(セルフケア)
- 市場サービスの購入

自助

- 当事者団体による取組
- 高齢者によるボランティア・生きがい・親労



互助

- ボランティア活動
- 住民組織の活動



- ボランティア・住民組織の活動への公的支援

- 社会保険制度及びサービス



共助

公助

- 一般財源による高齢者福祉事業等
- 生活保護
- 人権擁護・虐待対策



- 「公助」は税による公の負担、「共助」は介護保険などリスクを共有する仲間(被保険者)の負担であり、「自助」には「自分のことを自分でする」ことに加え、市場サービスの購入も含まれる。
- これに対し、「互助」は相互に支え合っているという意味で「共助」と共通点があるが、費用負担が制度的に裏付けられていない自発的なもの。
- 【時代や地域による違い】
- 2025年までは、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみ世帯がより一層増加。「自助」「互助」の概念や求められる範囲、役割が新しい形に。
- 都市部では、強い「互助」を期待することが難しい一方、民間サービス市場が大きく「自助」によるサービス購入が可能。都市部以外の地域は、民間市場が限定的だが「互助」の役割が大。
- 少子高齢化や財政状況から、「共助」「公助」の大幅な拡充を期待することは難しく、「自助」「互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取組が必要。

## つながりを持ち続ける理由は？

- 当たり前の思い、考えを行動に移し、自分にとって必要だから！例えば〇〇さんに必要だからという単純な思いから、現在に発展しているという事実。
- 温故知新 特にも農耕における「田植」を地域で一体的に行う。「結」「講」と呼ばれる共存型地域社会への回帰。
- 仮設住宅における長屋文化の醸成(よくも悪くも隣を意識しだした)  
※新しいコミュニケーションへの試金石となるのでは？

## 今後に向けて！！

- 今回みなさんと共有したあるものについて、広報誌、民児協理事会、チームけせんの和通信などで、もっと知ってもらう機会を設けます。
- 近い将来、通いの場＝はまかだスポット として認定したいと思います。
- それぞれの活動を報告し、多地域・他団体と交流できるように発表の機会と、当たり前であるけれども、活動をみんなんで認め合えることを目的にしたフォーラムを実施したいと思います。

※行政だけでは難しい、地域の力を発揮してもらえるように！！

## 本日はありがとうございました。

- 今後とも宜しく願いいたします。
- 8月・9月も引き続きご参加願います。
- 住民だけでなく、私たちが繋がりを持ち続ける理由があります

よね

広田町

住民主導型通いの場

「泊お楽しみクラブ」



この映像には  
田端お楽しみクラブ会員の  
一生懸命な姿が収められています  
まれに衝撃的な写真・映像がありますが  
平均年齢80代前半の元気な姿を観て  
市内のみなさんが刺激を受け  
楽しんで下さることを心から願います



今後も地域のつながりと  
健康づくりを大切にしながら  
活動したいと思います

踊りの出演依頼も受け付けます♪





市内各地域で同じように  
『通いの場』が  
増えるといいですね♪

特定非営利活動法人  
ワーカーズコープ陸前高田事業所

事業所取組み、活動

カバン作り



サロン活動(介護体操)



サロン活動(民謡)



帽子づくり



共同農園



移動販売



都市農村交流



地域で目指すこと

- ・地域の出会いの場をつくる  
(サロン、直売所、共同農園)
- ・地元住民でつくるサロン活動  
(教える側、教わる側)
- ・お互いに支えあえる場づくり  
(地域の支え合いサポーター養成講座など)

※助成金申請の際に提出したものです。内容は変更があるので参考としてご覧ください

## 年間スケジュール表

(白お楽しみクラブ)

◎原則として毎月第2、第4火曜日開催

月	事業計画	主な活動場所	実施の体制(人)	
			会員	会員以外
4月	① 役員会・総会	田端公民館	2	0
	② 口腔ケア講話	//	2	1
	③ 軽体操	//	2	1
5月	① 低栄養予防講話・調理実習	田端公民館	2	3
	② 軽体操	//	2	1
	③ お楽しみ会	市内温泉施設	2	1
6月	① 転倒予防体操	田端公民館	2	2
	② 熱中症予防講話	//	2	1
7月	① 夏バテ予防食指導・調理実習	田端公民館	2	3
	② 地区子供会交流会(世代間交流)	広田保育園	2	20
8月	① 心の健康講話	田端公民館	2	1
	② ロコモティブシンドローム予防体操	//	2	3
9月	① ウォーキング講習会	田端公民館・近隣	2	2
	② 防災講話	田端公民館	2	1
	③ 慰問交流会練習	//	2	2
10月	① 慰問交流会練習	田端公民館	2	2
	② 老人福祉施設慰問・交流	高寿園デイサービス	2	20
	③ 市民芸術祭出品作品制作	田端公民館	2	5
11月	① 市民芸術祭出品作品制作	田端公民館	2	2
	① 軽体操	//	2	1
	② 防犯講話	//	2	1
12月	① 認知症予防講話	田端公民館	2	10
	② ふり返り発表会	//	2	5
1月	① みずき団子作り(世代間交流)	広田学童クラブ	2	10
	② 軽体操	田端公民館	2	1
2月	① 減塩食指導・料理実習	田端公民館	2	3
	② 手芸・工作会	//	2	5
3月	① 軽体操	田端公民館	2	1
	② レクリエーション体操	//	2	3

※ 6~7月はウニ、11~12月はアワビの開口のため、日程変更する場合あり。

泊お楽しみクラブ活動内容

開催日	内 容	講 師
H27. 11/10	わくわく体操	志田美紀氏
H27. 11/24	認知症について	市保健師 蒲生紋子氏
H27. 12/8	オレオレ詐欺防止対策について	高田幹部交番所長 及川聰氏
H27. 12/22	お楽しみ会&軽体操	市介護予防指導員 大和田明美氏
H28. 1/12	新年交賀会&レク体操	市介護予防指導員 大和田明美氏
H28. 1/22	健康講話～冬に怖い感染症について～	市保健師 蒲生紋子氏
H28. 2/9	民謡と踊りを楽しもう	鳴海会
H28. 2/23	『地域でつながる』大切さについて	酒井保氏
H28. 2/26	ふりかえり交流会参加	
H28. 3/5	はばぎぬぎ (2/26の慰労会)	
H28. 3/22	茶話会 (28年度についての話し合い)	
H28. 4/12	成年後見制度について	市地域福祉課主任 奥村真以子氏
H28. 4/28	お花見昼食会 (箱根山にて)	
H28. 5/12	3B体操	熊谷きえ子氏
H28. 5/24	調理実習	栄養士 小林智子氏
H28. 6/6	レクリエーション	市介護予防指導員 大和田明美氏
H28. 6/20	健康体操 (ピラティス)	沖縄県 永渕悦子氏
H28. 7/12	歌と踊りを楽しむ会	老人クラブ共同開催
H28. 7/26 (予定)	調理実習	栄養士 小林智子氏

## グループで「はまってけらいん、かだってけらいん」

### ◆テーマ： つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

①すごいね！ すばらしいね！

なぜ続けているの？ 何が大事なの？

②自分の地域にはないかな？…知ってるよ。

(※今日のような内容を他でもやってもらおうという姿勢ではなく、いろんな形を…)

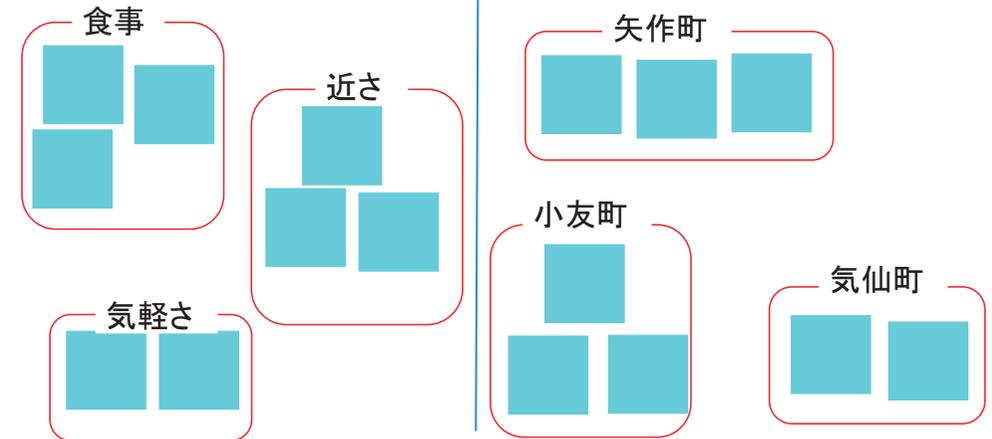
14:55～15:15 グループはまかだ

15:15～15:25 全体発表

## つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

①すごいね！ すばらしいね！

なぜ続けているの？ 何が大事？



②自分の地域にはないかな…？

## 1G つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

### すごいね！なぜ続けているの？

- ・会員が増えている ロコミ 支え合い
- ・一致団結
- ・楽しいから
- ・やる気がある人がいる
- ・自然体だから
- ・ずっとあるけど、知らないものだけ

### 自分の地域にはないかな？

- ・おそらく…
- ・上浜田構造センターでの活動
- ・朝日のあたる家(米崎)
- ・近所の家…
- ・みんな自由に

## 2G つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

### すごいね！なぜ続けているの？

- ・歩いていける
- ・人と関わりたい
- ・楽しいから続けているし続けられる
- ・気を遣わない
- ・地域のまとまり
- ・先に立つ人の行動
- ・楽しそう
- ・お互いさま
- ・芸達者
- ・気兼ねなくなんでも話せる
- ・公営住宅の方、明るく変わった
- ・外出でお互いの様子わかる

### 自分の地域にはないかな？

- ・広田に俳句会
- ・小友にノルディック・ウォーキング
- ・高田に民家で小さい畑を共同で作っている
- ・朝日のあたる家

## 3G つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

すごいね！なぜ続いているの？	自分の地域にはないかな？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーカーズコープ：特技を活かすこと</li> <li>・田端：コミュニティ保たれ、密集地域中心となる人すばらしい</li> <li>・やっている人、みている人が面白がっている</li> <li>・集まりたい理由ははっきりしている</li> <li>・集まってくるうちに楽しくなる世間話</li> <li>・先にたつひと大変も支援していきたい</li> <li>・何をしたい？ →なんでもいい 難しい…</li> <li>例) 手仕事したい →性差がある 男性は工作 女性は手芸</li> <li>・社協さん→業務の中で流れるようになる 住民主体の場合はきっちり計画たてない方がいい</li> <li>・健康に関すること聞きたい(高齢者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住先 6人でお茶会始めた …集まる場所ないかなー、自分たちで。。 →自然発生的にできるのでは</li> <li>・米崎仮設のボンジュール →集団移転の先でまたやるのではないかな…</li> </ul>

## 4G つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

すごいね！なぜ続いているの？	自分の地域にはないかな？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所があることが大事</li> <li>・キッカケからつなぐこと</li> <li>・お金→ 出すことで気楽になる場合 逆もあるけど、1回の負担を減らすと 楽しさあり続くのでは</li> <li>・できる範囲でできることだと長く続く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>

## 5G つながりを持ち続けている事例から学ぶこと

すごいね！なぜ続いているの？	自分の地域にはないかな？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務感がないのが参加しやすい</li> <li>・内容も興味があり気軽</li> <li>・集うところある</li> <li>・人とのつながりこちよ</li> <li>・顔見知りになる</li> <li>・集会所に行く健康管理すごい</li> <li>・住民さんの笑顔</li> <li>・一つのことを成功させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協、はまらっせん農園</li> <li>・菜園クラブ</li> </ul>

## 次回(平成28年度第5回)未来図会議予定

### ◆日時

平成28年8月19日(金) 13:30~15:30

### ◆メインテーマ(仮)

**NPOのつよみを活かしてもらうには**

…改めてNPOって？、震災後の市内での活動の実際は？

### ◆会場：陸前高田市役所第4号棟第6会議室

### ◆次々回(平成28年度第6回)

平成28年9月16日(金) 13:30~15:30

## 平成28年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議(月1回)の予定

### ○日程(予定)

H28年: 8/19(金)、9/16(金)、10/14(金)  
11/11(金)、12/16(金)

H29年: 1/20(金)、2/17(金)、3/17(金)

※3/17(金)会場変更:陸前高田市コミュニティホール

### ○年間テーマ

私から始める他人(ひと)ごと意識の解消

～ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりの実践～

「はまってけらいん、かだってけらいん運動」の推進、ハイリスクアプローチと  
ポピュレーションアプローチの融合・実践、市民・他分野機関との協働、未来  
図(計画)策定、居場所づくり、相互の経験に学ぶネットワークづくり

## 平成28年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議月別テーマ予定

・9/16(金)第70回

(仮)通いの場づくり ～つながりを持ち続ける理由～②

・10/14(金)第71回

(仮)子どもからお年寄りまで誰もが集える居場所づくり、コミュニティづくりとは  
【出張未来図会議: 栃ヶ沢公営住宅集会室(予定)】

・11/11(金)第72回

(仮)子育て世代が必要としている支援、切れ目のない妊産婦・乳幼児への支  
援とは ～子ども・子育て世代への合理的配慮って?～

・12/16(金)第73回

(仮)エンド・オブ・ライフケアと地域コミュニティ～地域でその人らしく最期を迎  
えるために～

## 陸前高田市保健医療福祉未来図会議 メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

### 陸前高田市保健医療福祉未来図会議 参加希望申し込みサイト

未来図会議への参加をご希望される方はこちらから申し込んでください。

\*必須

氏名\*

メールアドレス\*

# 地域福祉課

がなぜ

「通いの場づくり」



「福祉」という言葉は、しあわせを意味します。  
福祉 = Welfare、Well-being

「ふくし」の本質は、すべての人が幸せに  
生きられるようにすること。その中心にある  
ものは、「いのち」「くらし」「いきがい」です。

「ふくし」の本質は、すべての人が幸せに生きられるようにすること。その中心にあるものは、「いのち」「くらし」「いきがい」です。つまり「ふくし」は、暮らしのあらゆる場面に必要不可欠なものであり、あなたが将来どんな仕事に就こうとも「ふくし」的視点は欠かせないのです。ただし、現代の日本にはまだ「ふくし」が十分に浸透していないといえます。「ふくし」の実現には、一人ひとりがまず「ふくし」を意識して生きることが大切です。

## 福祉(ふくし) = 幸せの大切さ

病気でも「幸せ・元気」

高齢でも「幸せ・元気」

一人暮らしでも「幸せ・元気」

障がいでも「幸せ・元気」

健康でも「不幸せ」

## 自立は、依存先を増やすこと

居場所、絆(きずな+ほだし)、関係性が不可欠

## 希望は、絶望を分かち合うこと

はまかだする

熊谷晋一郎



[http://www.tokyo-jinken.or.jp/jyoho/56/jyoho56\\_interview.htm](http://www.tokyo-jinken.or.jp/jyoho/56/jyoho56_interview.htm)

地域の  
はまかだスポット  
確認・発見・創造  
事業とは



できる人が  
できるときに  
できることを

を仕掛ける人が大事



地域でつながる  
がん征圧・がん患者支援のための  
24時間チャリティイベント

どなたでも  
参加できます!  
参加者募集

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 さんりくかまいし



●日時: 2016年9月3日(土)12時▶4日(日)12時

●場所: 釜石市シープラザ遊

イベントの当日は、たくさんのチームが「がん患者は24時間がんと向き合っている」をメッセージに、24時間交代で歩き続けます。ステージや楽しい企画のブースもあり、歩き疲れたらちょっとのぞいてみてください。ちょっとだけの飛び入り参加や夜中だけの参加も大歓迎です。

ボランティアスタッフも募集中!



〒026-0031 釜石市鈴子町22-1

問い合わせ 実行委員会事務局 〒026-0001 釜石市大字平田第6地割1-9 平田第2仮設団地13-3  
<http://rfjisanriku.com> ✉ [rfj.sanriku@gmail.com](mailto:rfj.sanriku@gmail.com) [facebook.com/rfj.sanriku.kamaishi](https://www.facebook.com/rfj.sanriku.kamaishi)

【主催】公益財団法人日本対がん協会／リレー・フォー・ライフ 2016さんりく実行委員会

【後援】厚生労働省 岩手県 釜石市 大船渡市 陸前高田市 住田町 大槌町 釜石市教育委員会 大船渡市教育委員会 陸前高田市教育委員会 住田町教育委員会 大槌町教育委員会 一般社団法人釜石医師会 一般社団法人気仙医師会 公益財団法人岩手県対がん協会 釜石市体育協会 岩手県訪問看護ステーション協議会 岩手県看護協会釜石支部

## ～☆☆さくらっ娘隊 お地藏さん作り☆☆～

7月8日中田公営住宅集会所で、さくらっ娘隊による陶芸教室が行われ、26名の方にご参加、頂きました。今回作ったのは、かわいらしいお地藏さんです。参加した方は、「粘土を触ったのは小学校以来」「童心に帰るようでとても熱中出来た」と話していました。



## ～♪にっこり笑顔♪～



一人一人お地藏さんの表情や形に個性が出ていてとっても可愛かったよ！



## ◎中間支援案内

「あおぞら整骨院」による  
マッサージボランティア

- ①8月7日 竹駒コミュニティーセンター集会室  
時間 13:30～17:00頃まで  
※無料マッサージです  
来場者数によって、終了時間に変更があります

「スマイル東北プロジェクト」  
花植え&手洗い&マッサージ体験

- ①7月23日 場所 高田第一中学校仮設集会所  
時間 13:30～  
②7月24日 場所 滝の里仮設集会所  
時間 10:00～

## ◎ 6月の主な催事 「花泉高校さんとの交流会」(6月16日 高田第一中学校仮設)

一関花泉高校3年生の生徒さん達が、仮設の住人さんと交流し、震災や仮設住宅の暮らしについてお話を聞くため、高田第一中学校仮設住宅集会所へやってきました。



～震災時の話を熱心に聴く生徒さん達～

生徒の皆さんは、「仮設暮らしで不便な所や支援物資の中で一嬉しかった物」など、事前に考えてきた質問をし、住人さんの答えを熱心にノートに書き写していました。



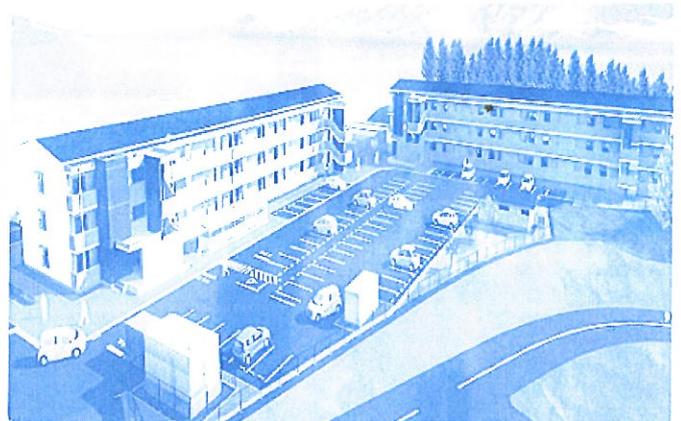
～生徒さんと一緒に折り紙を折る住人さん～

生徒さんの輪に住人さん達が加わり、一緒に折り鶴を作りました。生徒さん達の若いパワーに住人さんも元気をもらった様子でした。

## ◎ 復興現場状況 「脇ノ沢公営住宅」(6月現在)



基礎工事の様子



完成予想図(一部分)

待ちに待った、脇ノ沢公営住宅が着工しました。日当たりが良く、景観が素晴らしい場所です。現在は、1号棟が基礎配筋、2号棟が地盤改良をしている所です。入居数は60戸 平成29年2月上旬に完成予定です。

**編集後記** 暑さが本格的になってまいりました。この季節になると気になるのは、熱中症ですね。水分を充分にとって、この夏を楽しく過ごしましょう。

# 自分のまちは、 自分の手でつくる。

自分のまちに秘めたる熱い想いをもち、  
陸前高田で暮らすそのあなた。

“想う”から“実行する”へ。  
一歩踏み出すための準備、一緒に始めませんか？

平成 28 年度

## まちづくりコーディネーター育成講座

- 日 時：全 6 回
- 場 所：陸前高田まちづくり協働センター（高田町大隅 93-1）※変更あり
- 定 員：15 名
- 参加費：受講料 500 円 ※全 6 回中何回受講しても 500 円。高校生以下は無料！  
ハンドブック代 500 円（持っていない人のみ）
- 主 催：陸前高田まちづくり協働センター



詳細は、裏面をご覧ください。



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の  
助成を受けて活動しています。

協働センター、  
いろいろやっています！

まちづくり協働センター  
ホームページ →



# 講座日程&内容

会場はすべて、まちづくり協働センターです。  
※変更がある場合は連絡します。



スタート

## 第1回

7/28 (木) 19:00~21:00

### 『まちづくり』って、 なんだろう？

なぜ今『まちづくり』？  
『まちづくり』って誰がするの？  
始める前に考えてみよう！

## 第2回

8/27 (土) 10:00~15:00

### 納得できる 話し合いの進め方とは？

話し合いや会議って難しい...  
みんなが参加して納得できる  
話し合いのコツを身につけよう！

## 第3回

9/10 (土) 10:00~15:00

### 地域の資源、 どうやって見つけるの？

自分が住んでいる地域に何があるのか、  
どういう場所か知っていますか？  
実際に歩いて、地域を深く知るための  
コツを身につけよう！

## 第4回

9/29 (木) 19:00~21:00

### 見つけた資源、 どうすればいいの？

地域のお宝や困った、そのままにして  
おいていいの？  
活用するための方法を身につけよう！

## 第5回

10/20 (木) 19:00~21:00

### どんな活動が出来るだろう？

集めて整理された地域のこと。  
それを活かして実際に活動をすすめる  
ための計画の立て方を身につけよう！

## 第6回

11/10 (木) 19:00~21:00

### どうやって伝えよう？

「仲間がほしい」「活動を周知したい」  
でも、どうやったらいいんだろう？  
伝えるコツを身につけよう！

ゴール!!

お申込み・内容に関する問合せ等は、下記の連絡先までご連絡をお願いします。

【申込書】 ※ご記入いただいた個人情報は、本連続講座以外の目的には使用いたしません。



受講者氏名				電話番号		
住所						
参加希望 (希望の回に○を)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回

お申込み先 : 陸前高田まちづくり協働センター  
(お問合せ先) 〒029-2205

陸前高田市高田町字大隅 93-1 高田大隅つどいの丘商店街内 11号  
(電話) 0192-47-4776 / (FAX) 0192-47-4778

# おはやがんす〜

## 朝日のあたる家 通信

2016  
7月号 Vol.38

発行  
NPO法人 福祉フォーラム・東北  
朝日のあたる家  
〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字松峰48-1  
TEL:0192-47-4750 FAX:0192-47-4751  
<http://asahinoataruie.org/>  
fukushitohoku@gmail.com

朝日のあたる家は、「高齢者や子ども、障害のある人の生活を支援したい。」という思いから、「どなたでも気軽に立ち寄りお茶を飲んだり、お話をしたり、ミニコンサートを楽しんだり、ときには相談にのってもらえたり・・・」そんな、当たり前な地域生活を地域のみなさんと一緒につくっていくための拠点として開設された「みんなのコミュニティーハウス(居場所)」です。

### お知らせ

Information

#### お出かけ広場 きらりんきっす

7月1日(金) 10:00~11:45 参加無料

高田大隅つどの丘商店街にある子育て支援センター「きらりんきっす」と「お出かけ広場」を開催します。親子で交流しませんか。未就学のお子さんを家庭で育児されている方でしたら、どなたでも参加できます。

#### うたっこの会

7月19日(火) 13:30~15:00 参加無料

昨年より、小友町三日市仮設住宅集会所から朝日のあたる家に場所を代えて毎月開催されている「うたっこの会」。今回も歌って踊ってストレス発散??童謡から民謡まで、うたっこの会の皆さんと楽しく一緒に歌いましょう!どなたでも参加できます。どうぞお気軽に!!

#### ウクレレ奏者のツジヤマガクさんの 手作り楽器大作戦

7月20日(水) 10:00~11:30 参加無料

ウクレレ奏者のツジヤマガクさんを講師に迎え、「カズー」という楽器を作り、鳴らして遊びます。また、ガクさんのステージとウクレレ体験もお楽しみに!陸前高田市地域子育て支援センター「あゆっこ」「にこにこ」と一緒に開催します。子育て家庭の親子や興味のある方でしたら、どなたでも参加できます。

#### 音楽でつなぐ チェコ~東京~三陸 Vol.10

7月23日(土) 14:15~16:30 入場無料

2012年7月大船渡カメラホールでの初回以来、「音楽でつなぐ チェコ~東京~三陸」コンサートも5回目を迎えます。毎年、チェコゆかりの演奏者、東京在住のアーティスト、そして、地元陸前高田や大船渡の演奏家との豪華共演です。お楽しみに~。

### イベント



#### 朗読と交流会

朗読人・堀田紀真さんによるお話の世界に引き込まれました。朗読の後は、出演者・スタッフの皆さんを交えて、アメリカ・ロサンゼルスからのお菓子やコーヒーをお供に、交流を楽しみました。

6/11土

#### 伴真純 支援コンサート 「みんなでわーっと歌おう会」

伴真純さんとピアニスト・浅見陽子さんによる支援コンサート。素晴らしい歌と演奏に感動しました。また、一緒に歌う時間もあり、みんなで歌って楽しみました♪



6/14火



#### あそびのいえ

Kids Hurt Too Hawaiiのシンシア・ホホワイトさんと伊藤ヒロさんをお迎えして、地震と津波を体験した子どもたちのためのグリーフ・プログラムを開催しました。地震と津波を体験した子どもたちが、遊んだり、語り合ったりと、楽しみながら癒しの時間を過ごしました。

6/18土

#### アジアトリニティー ピアノ・ヴァイオリン ライブ

クラシックを聴きやすくアレンジした、ピアノ・ヴァイオリンのライブ。姉妹の共演に加え、母子の共演もあり、ハートフルな癒しの時間が流れました。



### 朝日のあたる家ではグラウンドゴルフが楽しめます!

朝日のあたる家の広場では、グラウンドゴルフの練習ができます。随時利用中です!ぜひお気軽にご利用下さい。  
お問い合わせ: 0192-47-4750 (朝日のあたる家 / 熊谷)



### 今月の笑顔



穀田 実さん(米崎町)

「朝日のあたる家にお世話になって3年目になりました。スタッフの方々がとっても優しいので、気軽に立ち寄れる場所です。イベントや定例プログラムなどにも、ほとんど全部参加しています。みなさんも仲間に入りませんか!? 待ってま〜す!!」

### 「きみの自習室」のお知らせ

学校帰りに立ち寄って勉強で使えるように、「朝日のあたる家」では、小学5年生から高校生までの人々を対象に、18時以降も開放することができます。大小4つのスペースに大きな木の机がある「朝日のあたる家」。木のぬくもりを感じながら勉強をしませんか。「きみの自習室」の時間中もスタッフがいますので、安心してご利用いただけます。ご希望がありましたら、まずはご連絡ください!!

☎ 0192-47-4750

Facebookページ <https://www.facebook.com/asahinoataruie.takata>

### 認知症カフェ



開催のお知らせ

「アップルカフェ(認知症カフェ)」は、できるだけ住み慣れた地域、住み慣れたまちで安心して暮らすために、認知症の人やその家族・知人、医療やケアの専門職、認知症について気になる人などが気軽に集まり、なごやかな雰囲気のもと交流を楽しむための場所です。昨年の11月からは新たにリニューアルし、月1回の開催となりました。今年も認知症についての基本なこと、認知症の人とその家族を地域で支えるために必要なことを地域の方々と一緒に考えて行ければと思っています。コーヒーや紅茶、美味しいお菓子を用意し、地域の皆さまのご参加をお待ちしています。どうぞお気軽にご参加ください!

参加費: 100円 ●第20回 7月5日(火) 13:30~15:00

### 編集後記

梅雨真っ盛り。寒かったり暑かったり、ジメジメしたりしていますが、体調はいかがですか!? 雨を嫌がる人は多いですが、雨を心待ちにしている植物や生物がいます。雨はイヤだ〜とは言ってられませんね。雨音を聴いたり、水たまりの波紋を眺めたり、雨の日ファッションにこだわってみたりと雨の日なりの楽しみ方はいろいろあります。自分なりの楽しみ方が見つかるといいですね。(長友)



# 7月の予定表 (開館：9：00～18：00)

日	月	火	水	木	金	土
					1 お出かけ広場 きらりんきっず 10：00～11：45  いきいき百歳体操 (体力測定日) 13：30～14：45	2
3	4 いきいき百歳体操 10：30～11：45  手芸の輪 13：30～15：00 	5 アップルカフェ 13：30～15：30	6 囲碁 13：30～17：00 	7 休館	8 いきいき百歳体操 13：30～14：45 	9
10	11 いきいき百歳体操 10：30～11：45  手芸の輪 13：30～15：00 	12	13 みんなでごはん 10：00～13：30  囲碁 13：30～17：00 	14 休館	15 いきいき百歳体操 13：30～14：45 	16
17 タイコクラブの みんなで打楽器演奏を 楽しもう！ 10：00～11：30	18 いきいき百歳体操 10：30～11：45  手芸の輪 13：30～15：00 	19 うたっこの会 13：30～15：00	20 ウクレレ奏者の ツジヤマガクさんの 手作り楽器大作戦 10：00～11：30 囲碁 13：30～17：00	21 休館	22 いきいき百歳体操 13：30～14：45 	23 音楽でつなぐ チェコ～東京～三陸 Vol.10 14：15～16：30
24	25 いきいき百歳体操 10：30～11：45  手芸の輪 13：30～15：00 	26	27 みんなでごはん 10：00～13：30  囲碁 13：30～17：00 	28 休館	29 いきいき百歳体操 13：30～14：45 	30
31						

地域のみなさんの活動に『朝日のあたる家』をご利用いただけます。

詳しくは、朝日のあたる家までお気軽にご相談下さい。TEL 0192-47-4750  
※原則として“貸し切り”はできませんのでご了承願います。開館時間：9:00～18:00 (木曜日定休)

- 歌(コーラス)や踊りの練習、趣味の活動、DVDの上映会、50人程度までの寄り合いや会議などで、朝日のあたる家をご利用いただけます。
- 敷地内には遊べるモニュメント「虹の架け橋」と、ホールにはグランドピアノもあり、子どもたちがたくさん遊びに来て下さいます。
- 朝日のあたる家は、地域のみなさんが誰でもいつでも気軽に立ち寄れる場所です。みなさんでシェアしながらご利用下さいね！



**お風呂**

休館日以外ご利用になれます。お一人でも、お友達やご家族とでもどうぞ。

施設運営協力費(1人：200円)をお願いいたします。

前もってご連絡ください。☎0192-47-4750 利用時間：10:00～12:00 14:00～16:00

平成28年度

# ヘルシー栄養教室受講生募集！

## (食生活改善推進員養成講座)

健康づくりや生活習慣病・メタボリックシンドロームを予防するためには『バランスの良い食生活』の実践が欠かせません！

そこで、『食』を通じた健康づくりについて学び、家族、ご近所、地域における食育推進・健康づくりの担い手として、積極的に広くボランティア活動を行う、食生活改善推進員の養成を目的としてヘルシー栄養教室を行います！！

食や健康づくりに興味のある方は是非お友達や近所の方と一緒に参加してみませんか！

〜〜\*〜〜

★ **開催期間** 平成28年8月9日(火)～12月13日(火)までの全5回

★ **場 所** 陸前高田市コミュニティーホール

★ **募集人数** 20名 ※定員になり次第締め切ります

★ **受講料** 2,000円(テキスト代及び調理実習材料費含む)

★ **カリキュラム**

男性の受講者  
大歓迎です！



	実施日程	教室内容	講師
1	8月9日(火) 9:30～12:00	<input type="checkbox"/> 開講式、オリエンテーション <input type="checkbox"/> お話：陸前高田市の健康状態を知ろう！ <input type="checkbox"/> お話：気を付けよう！食品衛生と食中毒	市栄養士 市保健師 大船渡保健所
2	9月5日(月) 9:30～14:00	<input type="checkbox"/> お話：いつ、何を、どれだけ食べればいいのか？ <input type="checkbox"/> 調理実習：生活習慣病予防のための食事	市栄養士
3	10月11日(火) 9:30～14:00	<input type="checkbox"/> グループワーク：栄養バランス献立を作ってみよう！ <input type="checkbox"/> 調理実習：高齢者の低栄養を防ぐ食事	市栄養士 高寿園 管理栄養士
4	11月17日(木) 9:30～14:00	<input type="checkbox"/> お話：元気なカラダの秘訣はお口から <input type="checkbox"/> 調理実習：実践☆作成した献立で調理をしよう	歯科衛生士 市栄養士
5	12月13日(火) 9:30～14:00	<input type="checkbox"/> 運動：食事だけでは不十分！運動を取り入れた健康づくりをしよう <input type="checkbox"/> 調理実習：郷土料理を作ろう <input type="checkbox"/> お話：食生活改善推進員って、なあに？ <input type="checkbox"/> 閉講式	健康運動指導士 食生活改善推進員 市栄養士

★ **その他** 5回中4回以上受講された方に修了証書を交付します。

平成26、27年度この教室を修了されている方のご参加はご遠慮願います。  
講師の都合によりカリキュラム変更になることがありますのでご了承下さい。

★ **募集期間** 平成28年7月26日(火)までに下記まで申し込みください。

\*\*\*申し込み・問い合わせ先\*\*\*

陸前高田市役所 民生部保健課保健係  
電話 54-2111(内線244) FAX 55-6118  
メール rt11963@city.rikuzentakata.iwate.jp(村上)



# ヘルシー栄養教室 申し込み用紙

FAXの場合は、下記に必要事項をご記入の上、

陸前高田市役所 民生部保健課保健係 **FAX 0192-55-6118**

まで、お送りください。

電話またはメールで申し込みをされる場合は、下記の必要事項をお伝えください。

**TEL 0192-54-2111 (内線244)**

**メール rt11963@city.rikuzentakata.iwate.jp (担当 村上)**

お名前	
ご住所	
お電話番号	

ご記入頂いた個人情報は、ヘルシー栄養教室開催の目的のみに使用いたします。

平成28年度 第3回（震災後第67回）  
陸前高田市保健医療福祉未来図会議 議事録

テーマ：「誰もが住みやすいまちづくりに向けて

～今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮～」

日時：平成28年6月17日（金）13：30～15：30

場所：陸前高田市役所 4号棟第6会議室

参加：19名 9団体

資料：下記にアップ

<http://healthpromotion.a.la9.jp/saigai/rikuzentakata.html>

## 1. 挨拶

尾形保健課長補佐：

今回のサブタイトルである「今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮」について、本日お集まりの皆さんで活発な意見交換をしていただき、1つ2つでも実践して取り組んでいただく会にしたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

## 2. 内容

(1) 未来図会議のめざすところと「これから」

・陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏

(2) 報告

報告①「今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮」

・地域福祉課 障がい福祉係長 中川健司

報告②「当事者からみた合理的配慮の実際」

・岩手県視覚障害者福祉協会 大船渡支部 副支部長 熊谷賢一氏

(3) グループで「はまってけらいん、かだってけらいん」

・テーマ：誰もが住みやすいまちづくりに向けて

①法律に関わらず、これまでに身近で感じた差別や合理的配慮について

②今日を受けて、これから私ができる・やってみたい合理的配慮について

例) 郵送文書について：文体や文字サイズ、点字など…

(1) 未来図会議のめざすところと「これから」

(陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏)

お配りした資料に、「住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的

な生活及びノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実現を目指して、震災からの復興に向けた地域にとって、よりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中長期的な展望を議論する」とある。この中で特に「健康で文化的な生活」というところを、皆さんに改めて意識していただきたい。

国が示している健康日本 21 の第 2 次計画に、「全ての国民がともに支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」とある。その中で重視されていることは、「生活の質の向上、文化的な生活ができるようになること」「社会参加の機会の増加」である。これが健康づくりのキーポイントになっている。

その中にもう一つ「健康を支え、守るための社会環境の整備」とあるが、その中で「ソーシャル・キャピタルの向上」、わかりやすく言うと「地域のつながりを強化しよう」と言っている。つながりと言えば「絆」を思い浮かべる。この漢字は「きずな」と読むが、もう一つ「ほだし（手かせ、足かせ、迷惑、束縛）」と読む。ソーシャル・キャピタル、地域のつながりには「信頼」「ネットワーク」「お互いさま」という 3 つの要素がある。ネットワークは「きずな」、お互いさまは「ほだし」であり、これがそろった社会では、人は健康な行動をとり、総死亡率や自殺も減ることがわかっている。さらに、まちおこし・子育て支援・教育など、いろいろな面で効果がある。

では、障がいを抱えている一人一人の「きずな」「ほだし」をつくるためには何が必要なのか。例えば、このような会議をするときに「障がい」というタイトルがつくと、「人ごと意識」で人が集まらない。この社会をどう変えていくか。また、障がいに対する「きずな」「ほだし」が弱いことも考えていかなければいけない。そのために何ができるか、アイデアやヒントを共有し、社会・地域に向けた提言を行い、ともに働く場をヘルスプロモーションという立場で推進するのが、この未来図会議である。

## (2) 報告①「今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮」

(地域福祉課 中川障がい福祉係長)

本日は、サブテーマにもなっている「今ある差別の実感、できている・できていない合理的配慮」について、3 点話をさせていただく。

1 番目は「障害者差別解消法」。平成 28 年 4 月 1 日より施行となった法律だが、大きな柱が 2 つあり、1 つが「不当な差別的取り扱いの禁止」、もう 1 つが「合理的配慮の提供」である。「不当な差別的取り扱いの禁止」は、障がいを理由に障がいがない人と違う扱いを受けることを禁止している。「合理的配慮の提供」は、障がいのある人が障がいのない人と平等に人権を享受し、行使できるようにする配慮のことである。

陸前高田市では法律の施行以前より、ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの理念のもとに行動計画を策定し、この中で障がいのある方だけでなく、より広い範囲の高齢者や妊産婦、お子さん等を含めた多くの方々が生活の中で困ったことがあれば、互いに支え合えるまちづくりを進めている。

2 番目「今ある差別の実感」。意識していない差別として、例えば車椅子で食事に行った際、車椅子に座ったままで食事ができるように椅子を外された。これは思い込みによる差別

で、食事の時には椅子に移乗したほうが楽だという方も中にはおり、最初からその選択肢を奪われてしまっている。それをなくすために何が必要かという、「相手が欲していることを理解しようとする」「自分がやってほしいことを相手に伝える気持ちを持つこと」である。

3番目は「合理的配慮」。差別を解消するための配慮として大事なことは、「相手に聞いてみる、そして相手を理解すること」である。例えば、障がい者スポーツ大会で持ち込んだ容器に「水を入れてほしい」と言ったが断られたケースがあった。これは、給水側はウォーターボトルに無制限に給水することが難しいので紙コップを設けたが、利用者は紙コップでは飲みにくいいため、ボトルに入れてほしかったということである。合理的配慮については、「してもらいもの」「してあげるもの」ではなく、「お互いにとって住みやすいまちにするにはどうすればよいか」について話し合うことが、「多様性を認めた、ともに生きるまちづくり」につながっていくと考える。

## (2) 報告②「当事者からみた合理的配慮の実際」

(岩手県視覚障害者福祉協会 大船渡支部 副支部長 熊谷賢一氏)

5月31日に市長と「つばきの会」という、広報を朗読しているグループの利用者との懇談会があった。私たちは視覚障がい（見えない障がい）があり、読むこと、書くことが皆さんのようにはできない。市長と語る会の中で、「市役所から来る文書がどこから来たものなのかわからない。届いた郵便物に何も印がないのでわからない。点字でどこの課から出しているのか、重要なものなのか、わかるようにしてほしいが、点字が読める人は1割ぐらいしかいないという状況もあり、音声化することのできるSPコードやQRコードをつけてほしい」という話があった。

ヘルパーさんに内容を書いていただくにも、郵便物の処理に時間をとられてしまうと、もともとの契約内容（散歩や買い物）に影響するため、使える時間帯を拡充して、安心して過ごせる状況をつくっていただければと思う。

また、外出することにも課題がある。公共交通機関やオンデマンドタクシーもあるが、バス停までの移動や集まる場所まで行かなければならない。そのためだけにヘルパーさんが来てくれるわけでもないため、それを解消できるものとして「オンデマンドタクシーの範囲拡張」「人の支援、手つなぎ支援の拡大」をしていただかなくては安心して生活していくことができない。さらに、移動することが解消されたとしても、買い物に行った場合、自分の買いたいものを探すことができない。例えばイオンでは呼び出しボタンを押せば、手伝ってくれる仕組みができていますが、個人商店では時間帯によって混んでいると難しい。ほかに健康づくりのためにスポーツ施設を利用しようと思っても、その施設でのガイドがいないと安全にスポーツをすることができない。また、就労に関することとして、鍼灸・マッサージ以外の職場の拡充をしてほしいなど、いろいろな話が出ていた。

### 地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

今日、熊谷さんにおいでいただいたのも、視覚という部分で、眼鏡を使っている方や高齢者など、いろいろな方が一緒に考えられるのではないかとこのころがあった。このあたり

で質問や意見はないか。先生から一言いただいてもよろしいか。

**地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏：**

健康で文化的な生活をするために読み書きは不可欠である。「外出や文化的な楽しみを享受する環境をつくらなければいけない」ということに対する合理的配慮を私は何もできていないと感じた。「人ごとはだめだ」といろいろなところで言っているのに、私もやはりどこか人ごとだと大いに反省した。熊谷さんにとって「人ごと意識だ」と、ご自身の中で感じることはあるか。

**熊谷賢一氏：**

答えになるかわからないが、私は点字ブロックがあればいいと思っていた。自分さえよければいいとは思っていないが、足の悪い方や車椅子の方、ベビーカーを押している方などのことは、余り考えないで生きてきたと思っている。

**地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：**

伊藤保健師さん、全国障害者スポーツ大会のリハーサルで「合理的ではなかった」というエピソードを一言お願いしたい。

**保健課 伊藤主任保健師：**

先週の土・日曜日、全国障害者スポーツ大会のリハーサル大会があり、車椅子バスケットボールと知的障がい者バスケットボールの2競技が行われた。私たち審判は、ゲームの前に必ず進め方など打ち合わせをするが、今回全く想像がつかなかったため、チームのコーチにアドバイスをいただいたところ、「変に気を使われると選手が混乱する。ふだんのルールどおりにしてほしい」ということだった。私たちの中で勝手に知的障がい者のバスケットはうまくできないのではないかと考えていたが、ほかの高校生と何も変わらず、おもしろいバスケットが展開された。9月には全国大会が一関で行われるので、ごらんになっていただきたい。

**(3) グループで「はまってけらいん、かだってけらいん」**

**①法律に関わらず、これまでに身近で感じた差別や合理的配慮について**

**1 グループ発表：気仙町在住吉田定子氏（気仙沼市唐桑総合支所保健師）**

中川さんの話を聞いて、「聞いてみること、お互いに話してみること」が大事だと思った。私は関節の問題があるため、畳の部屋だと長く座ってられないので、集会所へは椅子を持って参加するが、自然と「椅子に腰かけてもいい」という配慮があるといいと思った。

また、車椅子や視覚障がいの人、耳が聞こえない人、心の問題を持っている人などの声を聞いてほしい。点字ブロックの話も出たが、それが助かる人もいれば、困る人もいる。いろいろな会場では車椅子のエリアをとって入れるが、実は車椅子は移動手段であり、ずっと座るものではない。移乗しやすい椅子を用意してもらうことなどを、声に出して言わないとわ

からないということが出た。

**地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：**

これは配慮がなかったとか、障がい以外で何かあるか。

**保健課 伊藤主任保健師：**

言える場、声を上げる場がないということだったが、声を上げる場に参加できないことが障がいだという話があった。

**吉田定子氏：**

外出支援を利用しづらい等の問題のために、行こうと思っても行けない。外出支援のお知らせを知らないから参加できない。

**保健課 伊藤主任保健師：**

実際に建物ができてから「こうしてほしかった」と言うと、それは文句になりかねないが、つくる前に言うのであれば、それは意見になるという話をした。

### **2 グループ発表：保健課 蒲生恵美保健師**

点字ブロックは、子供や松葉づえでは転んでしまうということが出た。今度新しく建つ団地は点字ブロックが5ミリ低くなり、車椅子や子供は転びにくいですが、白杖による歩行は不便になりそうだと聞いた。

ほかに、自分の価値観で声かけをしてしまった例だが、お子さんの体重を見て、「大きい」といい意味で伝えたつもりが実は肥満の子だった。また、間違えて年配のお父さんに「お孫さん」と聞いてしまったなど、見た目で言うことも合理的ではない。聞きにくくてもわからないことは聞いたほうがいいという話になった。

### **3 グループ発表：中川障がい福祉係長**

大学の講義でパワーポイントを使ったが、色盲の人には色を考えたほうがよかった。同性愛の話をしたときに、学生の中にもそういう人がいたとしたら差別的な発言になってしまったのではないかと。全盲に近い人への言葉遣いがうまくなかったという点があった。

そのほかに、声の広報サービスは情報量が多過ぎて疲れてしまう。聴覚障がいがないと思いついて会議を開催してしまった。これは、案内の際に「何かお手伝いの必要があるか」を聞いておけば避けられたのではないかと。また、高齢者施設で食事を提供する際、本人は食べ物の形を見て食べたいという気持ちがあるが、喉に詰まることを恐れる余りに全部刻んでしまい、かえって食欲がなくなったということも差別的な内容だったのではないかとという意見があった。

**地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：**

障がいに限らず、「こういうことに配慮してやってみよう、やれるのではないか」という話をいただきたい。岩室先生、補足をお願いします。

**地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏：**

先ほど熊谷さんにご自身の中の部分、偏見を含めて質問させていただいたのは、人間は誰でもいろいろなものを抱えている中で生きている。どこまで合理的配慮をすればいいのか、これは決して障がいに対してだけではない部分もある。率直な意見をもんでいただきたい。

**(3) グループで「はまってけらいん、かだってけらいん」**

**②今日を受けて、これから私ができる・やってみたい合理的配慮について**

**3 グループ発表：中川障がい福祉係長**

相手への声かけをしていきたい。文書の文字の大きさ、大事な部分を強調するやり方を工夫するという案が出た。

**2 グループ発表：保健課 蒲生恵美保健師**

困っているように見える人には声をかける。視覚障がいの方は、声だけではわからないため、声をかけながら肩にさわって話しかける。建物の配慮が少ないところでは、人がカバーする。まちの中にどういうもの(点字ブロックや表示)があるか、確かめながら歩いてみる。体験する機会があれば、何でもやってみる、感じてみる。見た目で判断せず、曖昧なところは確認する。いろいろな人と交流する。市役所の中・外に交流できる広場を設ける。ガイド専門者をまちの中におくという意見があった。

**1 グループ発表：保健課 伊藤主任保健師**

積極的に障がい者側、困っている側からも発言をしていくことが大切ではないか。どこに困っている方がいるのか知らない、触れ合う場面がないので、その人たちに情報をつなぐ人がいるといいという話が出た。実際に行った事例では、手話サークルをつくったそうだが、立ち上げの際は健常者だけで集まったが、結果的に障がいのある方とつながることができた。形にこだわらず、できる人たちで始めるのはどうか。

困っている側からの発言では、高齢者の会場でマイクのボリュームについて、「反響して聞こえづらかった」とユーザーから指摘をいただいて、わかったという場面があった。何でも言える、聞ける関係になるといいという意見もあった。ほかにキャップハンディ体験や障がいを知るという活動も大切だということである。

**地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏：**

皆さん、議論を聞き、いい配慮と悪い配慮という発想はなかったか。いい配慮というのは、「きずな」があって結びつきがある。悪い配慮は社会でいうと「ほだし」、迷惑や嫌だと

いう部分になるが、これは絶対避けられない。高齢の問題が出ていたが、障がいだけではなく、生きづらさを感じている人もいる。まず何よりもこういう人たちとつながることが大事だという話が出てきたと思う。だからこそ、いろいろな体験をしてみようということである。きょう熊谷さんに来ていただき、ありがたかったと皆さんも感じていることだと思う。最初に話したソーシャル・キャピタル、「信頼」「ネットワーク」「お互いさま」があるが、実は「信頼」という話が出てこなかった。信頼を築くにはどうしたらいいか、熊谷さん、何か一言いただきたい。

**熊谷賢一氏：**

難しい話でわからないが、例えば親は子どもが生まれてきたらそばにいる。その親を、だめでもよくても信頼するしかない。社会に出ても取捨選択していくより仕方がないのではないかな。あとは社会的な協力でお互いに意識を変えていくとしか言えない。

**地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏：**

何でも聞ける、何でも言える、そういう関係性になると信頼が生まれてくる。だからこそ、コミュニケーションの場をどんどんつくり、気がつけば合理的配慮が浸透しているという世の中にしていく。お互いに何でも言える、聞けるという関係性は難しいが、これからも未来図会議で大事に考え続けたい。

**3. その他連絡・アナウンス**

**及川恵理子氏：**

去年から介護予防講座を始めたが、1年分をまとめた冊子がある。百歳体操も、毎週月曜日、11時からりくカフェ前の仮設で行っている。参加したい方は声をかけていただきたい。

**保健課 千葉愛実保健師：**

佐藤善治郎さんから陶芸教室の案内が来ている。興味がある方は参加をお願いしたい。

**吉田定子氏：**

B l o o m i n g T A K A T Aという子供たちの健康づくりを支援しようという団体が、7月24日（日）にレインボーハウスで健康づくりセミナーを開催する予定である。

**保健課 伊藤主任保健師：**

恒例の一本松ポロシャツ（1着2000円）を注文したい方は私まで、よろしく願います。

**◇次回：平成28年7月22日（金）**

メインテーマ（仮）：通いの場づくり～つながりを持ち続ける理由～①

…市内にある各種サロンや通いの場の実際から見えてくること

会場：市役所第4号棟第6会議室